

## 社会福祉

責任者・コーディネーター	野村 陽子 看護学部教務委員長		
担当講座・学科(分野)	看護学部		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

人は病気になり医療を受ける際に心理・社会的な影響を大きく受ける。特に入院が必要となった場合には、家族・経済・就労といったさまざまな要因が当事者の生活に影響をあたえる。本科目では、疾病から人が受ける社会的な影響を検討し、福祉というセーフティーネットがどのように機能するのかを学ぶ。病気の部分だけに焦点を当てるのではなく、看護を学ぶ上で全人的な視点をもって人に接することを理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

福祉を学ぶことで医療を必要とする人に医療の面だけでなく、生活に焦点をあて患者を地域での生活者として必要な支援が考えられる。また医療や障害福祉サービスを理解し連携することで適切にサービスを必要とする人に提供できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー： 1, 2, 5, 6

### ・到達目標（SBO）

1. 社会福祉の成り立ちを理解し、具体的な活動やサービスを説明できる。
2. 医療保障の仕組みを理解し説明できる。
3. 所得保障の諸制度を理解し説明できる。
4. 障害者総合支援法における、障害児・者サービスを説明できる。
5. 心理社会的アセスメントの方法について説明できる。
6. 人的・物理的環境が健康に及ぼす影響について説明できる。
7. 生活と健康障害の関連、疾病・障害が生活に及ぼす影響について説明できる。
8. 地域で活動する様々な集団やNPOなどの組織、及びそれらの活動について理解できる。
9. 対象者に必要なケアについて、関連機関や支援者と連携・調整する方法について理解できる。
10. 人口構成と疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計から健康や保健医療にかかわる課題について説明できる。
11. 保健医療福祉制度、保健医療福祉政策の歴史などから、看護の現状と動向を説明できる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/19	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	社会福祉概論 ・ 社会福祉の成り立ちから、現代までの動向を説明できる
4/26	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	社会保障の動向 ・ 医療福祉に関係する社会保障の各制度を説明できる
5/17	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	医療費と医療保障 ・ 現在の国民医療費と日本の医療保障の現状を把握することができる
5/24	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	介護保障 ・ 日本の高齢化の現状と介護サービスについて説明できる
5/31	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	障害児・者サービス ・ 障害者総合支援法における障害福祉サービスを説明できる
6/7	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	児童福祉サービス ・ 児童虐待の現状及び児童福祉サービスについて理解することができる
6/14	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	病気の心理社会的影響 ・ 1人の人が罹患することによる心理社会的な諸要因を理解することができる
6/28	金	1	看護学部	川乗 賀也 非常勤講師	自死の現状と福祉の関わり ・ 日本の自死の現状と福祉政策を予防的な観点から理解することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 第20版	福田素生、他著	医学書院	2019

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

授業内容を確認し指定した教科書を用いて最低 30 分の予習を行い、講義に臨むこと。授業を受けた後は、ノートと教科書等を用いて積極的な自己学習を行い、知識と理解の定着に努めること。各授業に対する事前・事後学修時間は最低 30 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

授業において試験は課さないが、必要に応じて授業の内容を振り返ることで知識の定着を図る。また、一部の講義ではレポートカードを配布し 300 字程度の振り返りを次の講義時に提出を求める。提出された内容については講義の中で振り返りとしてフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

保健師（別表 1）：保健医療福祉行政論

看護師（別表 3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影